

Ⅲ 研究の成果と課題

「自ら学び続ける授業の創造」という主題で、「目標」「学習内容」「指導方法」の流れで3年間研究を進めてきた。Ⅳ章に示した各教科等での研究の成果と課題を踏まえ、本研究の成果と課題としてまとめると以下ようになる。

1 研究の成果

〈本年度（3年次）研究における成果〉

- 自ら学び続ける子どもの内面で働く学ぶ意欲の基になる感覚を、各教科等ごとに視点を持って、分析的に見ることで考えていくことができた。
- 学ぶ意欲の基になる感覚という視点から、学習内容の見直しや指導方法の具体化を図ることができた。
- 学ぶ意欲を高めるための自己評価と相互評価の考え方を明らかにすることができた。

〈シリーズ研究（1～3年次）における成果〉

- 全ての単元・題材において、子どもが自ら学び続ける姿が表出するような、学びがいのある学習内容設定の在り方や指導方法の具体化が図られた。
- 子どもが自分の学ぶ価値を実感しながら学習に取り組むようになった。
- 自分の学んだことを日常生活で生かそうとする姿が見られるようになってきた。

2 研究の課題

- 学ぶ意欲の基になる感覚に焦点を当て、学習指導の在り方を明らかにしてきたが、今後も、子どもの学ぶ意欲をより高め、学習内容を確実に習得させるための指導方法の改善を続けていくことが大切である。
- 子ども自身の生活や実社会に生きる力を育成するために、考える力の育成を中核に位置付けた授業創造をしていく必要がある。
- 新学習指導要領を踏まえた教育課程の創造も行っていきたい。



《参考文献》

- 鹿毛雅治著 「子どもの姿に学ぶ教師『学ぶ意欲』と『教育的瞬間』」(教育出版 2007年)
- 市川伸一著 「学ぶ意欲とスキルを育てる 今求められる学力向上策」(小学館 2005年)
- 小島宏著 「学ぶ意欲を高める100の方法」(教育出版 2006年)
- 下山剛著 「学習意欲の見方・導き方」(教育出版 2000年)
- 北尾倫彦編 「生きる力を支える学習意欲の育て方A～Z」(図書文化 1997年)
- 辰野千寿著 「教室の心理学」(教育出版 1997年)

IV 各教科等による研究の具体化と授業プラン例

◇各教科等の研究主題一覧◇

自ら学び続ける授業の創造Ⅲ ～学ぶ意欲を高める学習指導～	国語科	自分のことばを求め続ける国語科授業の創造Ⅲ ～ことばで伝え合う喜びを実感する学習指導～
	社会科	人間の営みに共感し、自分の生き方を問い続ける社会科授業の創造Ⅲ ～新たな社会的事象に対して自分の学びのよさを味わいながら解決する学習指導～
	算数科	「問い」続ける算数科授業の創造Ⅲ ～活用する力を高める学習指導～
	理科	科学する楽しさを味わう理科授業の創造Ⅲ ～見通しをもって追究し、学びのよさを味わう学習指導～
	生活科	活動の価値を実感する生活科授業の創造Ⅲ ～活動への知的好奇心を高める学習指導～
	音楽科	音楽へのあこがれをもち、こだわって取り組む授業の創造Ⅲ ～音楽づくりにあこがれ、こだわるおもいをもち続ける学習指導～
	図画工作科	意欲的に自己の表現を追求する図画工作科授業の創造Ⅲ ～造形意欲を高める鑑賞活動の在り方～
	家庭科	自分の家庭生活を工夫し続ける家庭科授業の創造Ⅲ ～よりよい家庭生活を生み出す学習指導～
	体育科	運動に熱中・没頭する体育科授業の創造Ⅲ ～運動意欲を高める学習指導～
	道徳	よりよい生き方を学び続ける道徳授業の創造Ⅲ ～学びのよさを実感し、よりよく生きる意欲を高める学習指導～
	英会話	生きたコミュニケーションを楽しむ英会話授業の創造Ⅴ ～コミュニケーション能力を培う英会話授業の具体化～
	複式	学年別指導において学びを深める授業の創造Ⅲ ～学びを深める「学び方」と教科の内容を関連付ける指導の具体化～

※ 英会話及び複式の研究は、全体テーマの下ではなく、それぞれ独自に進めている。